

【安全に実習しよう】

名前（ ）

家庭科の学習では、調理や製作の実習を行います。学習が始まる前に、気を付けなければならないポイントを教科書P143～144を見て、確認しましょう。

安全に実習を行うためには・・・

- （ ）や（ ）の上は整理・整頓をしておく。
- ゆかに（ ）を置いたり、調理台の（ ）や（ ）を開けたままにしない。
- つねにどのようなことが起こるか（ ）し、対しよできるようにしておく。

1 製作実習

◎針やはさみなどをあつかうとき

- たちばさみや糸きりばさみ、針などを（ ）ない。
- （ ）や（ ）を人に向けない。
- 使用前には（ ）を確かめる。
- 針が折れたら（ ）し、（ ）に入れる。
- 針を使わないときは（ ）にさす。

◎ミシンをあつかうとき

- （ ）をせず、（ ）をよく見る。
- ほかの人がミシンを使って作業をしているときには、（ ）や（ ）にふれない。
- コントローラーを使う場合、（ ）だけ（ ）をのせ、（ ）ふむ。
- （ ）直前に電源を入れ、使い終わったら電源を（ ）。

◎コンセントを使うとき

- （ ）でプラグにさわらない。
- コンセントプラグを差し込んだり、ぬいたりするときは、（ ）で、（ ）を持つ。
- （ ）以外をコンセントに差し込まない。

◎アイロンをあつかうとき

- （ ）において作業する。
- （ ）に注意する。
- 使用中は（ ）。
- コードが荷物や人に引っかからないよう、（ ）で使う。
- （ ）があるときは、電源を切る。
- （ ）から片づける。

2 調理実習

◎始める前に

- ふきんは、()と()を分けて使うため、2つとも準備する。
- 胃腸炎などの()ときには調理実習は()する。
- アレルギーのある人と調理を行うときには、()に十分に注意する。
- 調理実習を始めるときには()をていねいに()。

◎野菜を洗うとき

- ()などのよごれをしっかりと洗ってから調理する。特に()で食べる場合は()。

◎包丁をあつかうとき

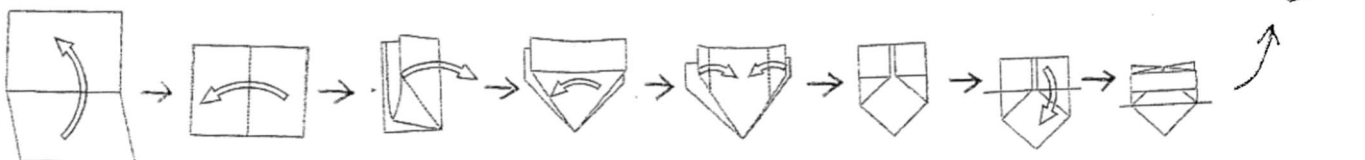
- 食品を()の指先を切らないように()。
- ()を決め、使わないときは()にもどすようにする。
- 包丁を()ない。運ぶときは()に入れるなど安全に気をつける。
- 包丁を()に向けない。友達に渡すときには直接わたさずに()においてわたす。また、()の部分(刃のみねの方)を相手の方に向けて置く。
- 包丁を置くときは()に置く。

◎加熱用調理器具をあつかうとき(教科書P10、11「ガスコンロの使い方」も見ておきましょう。)

- ()を回したり、()を開けたりして()を行う。
- ()を()のそばに置かない。また、コンロを使っているときには()ない。
- ()から()が出ないようにする。
- フライパンやなべなどは、()ときや()のときは、熱い部分があるので()に注意する。
- やかんやなべのふたを開けるときには、()ので、()ない。ふたについている()も()ので、十分に注意する。
- なべから()があったときには、一度ガスせんを閉めて()から、再度()な火加減で()をつける。
- ()に気がいたら()を閉め、()や()を開ける。()に()がつくおそれがあるので、()や()にふれない。

調理実習の時に出る生ごみは、新聞紙やチラシで作ったごみ入れを使います。ごみ入れが作れるよう、家にある新聞紙やチラシを使って練習しておきましょう。


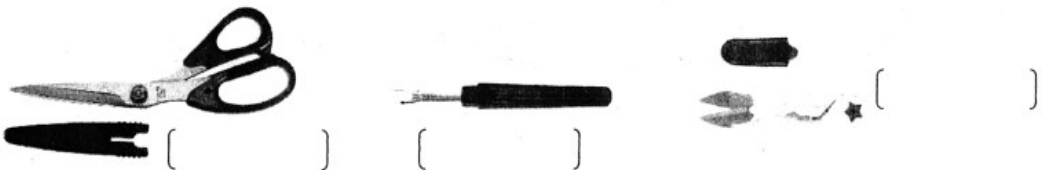
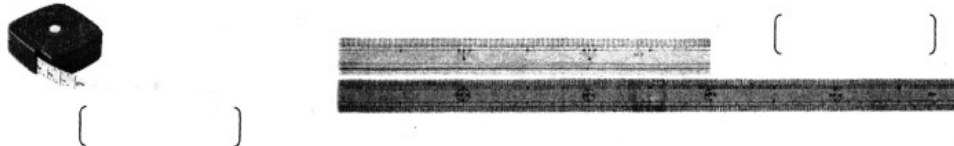

新聞紙のごみ入れの作り方



【調べよう！やってみよう！】 名前（ ）

1. 教科書 P25 を見ながら、さいほう用具の名前を覚え、安全な使い方を調べましょう。

□には、用具の役割、〔 〕には用具の名前を書きましょう。

 〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕	主に <input type="text"/> ときに使う。
 〔 〕 〔 〕 〔 〕	主に <input type="text"/> ときに使う。
 〔 〕 〔 〕	主に <input type="text"/> ときに使う。
 〔 〕	主に <input type="text"/> ときに使う。

2. 針とはさみの注意すべき点を書き込みましょう。

針	はさみ

ふり返ろう	◎ ○ △
安全な用具の使い方が分かりましたか。	
【気づいたこと・考えたことなど】	